

水辺のふるさと かつしか 秋号

2024.6
-2024.8

自然環境レポーター通信



写真のタイトル：例年の千ヨウやハチはどこ？
撮影場所：立石 名前：ゴーヤとアサガオ 写真提供：ゆきひめ

目次

- 1. 55種の動植物調査結果 P 2～5
- 2. 自由レポート P 6～20
- 3. 季節の写真集 P 21～25
- 4. 魚からの便り P 26～29
- 5. 環境課からのお知らせ P 30～32

担当編集の
ひとこと



こんにちは。環境課自然環境係の大野と申します。

令和6年9月7日に、自然環境レポーター委嘱式及び事業説明会を開催しました。令和6年度の自然環境レポーターの皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の夏も非常に暑い日が続いておりますね。私自身、こまめな水分補給を心掛けていても、頭痛など軽い熱中症の症状になることが多い夏でした。

暑さの影響か、「例年よりセミの鳴き声が少なかったように感じた」と報告してくれた自然環境レポーターの方もおりました。一方で、今年の親子自然観察会（セミの羽化）では、例年より多くの羽化個体を観察しています。この違いは、どうして生まれたのでしょうか。また、他にもこのような事象は発生しているのでしょうか。

自然環境の変化は、いつも皆さまの身近に起こっています。ぜひ観察いただき、自然環境レポーターとして「水辺のふるさとかつしか」へ投稿くださいますと幸いです。

環境課自然環境係 大野

<p>コアジサシ</p>  <p><input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ウグイス</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ギンヤンマ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>トノサマバッタ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>ツバメ</p>  <p><input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>コサギ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>アキアカネ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>クマゼミ</p>  <p><input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>オオヨシキリ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>カワセミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>オオカマキリ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>アブラゼミ</p>  <p><input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>コガモ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>コゲラ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>エンマコオロギ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ツクツクボウシ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>ツグミ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>シジュウカラ</p>  <p><input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>カンタン</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ミンミンゼミ</p>  <p><input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/></p>

<p>ニイニイゼミ</p>  <p>    </p>	<p>テングチョウ</p>  <p>    </p>	<p>ナガミヒナゲシ</p>  <p>    </p>	<p>セリ</p>  <p>    </p>
<p>ヤマトタマムシ</p>  <p>    </p>	<p>ツマグロヒョウモン</p>  <p>←雄 雌→</p> <p>    </p>	<p>シロツメクサ</p>  <p>    </p>	<p>オオバコ</p>  <p>    </p>
<p>ナガサキアゲハ</p>  <p>    </p>	<p>アカボシゴマダラ</p>  <p>    </p>	<p>スズメノエンドウ</p>  <p>    </p>	<p>オオキンケイギク</p>  <p>    </p>
<p>クロアゲハ</p>  <p>←表 裏→</p> <p>    </p>	<p>アカメガシワ</p>  <p>    </p>	<p>イモカタバミ</p>  <p>    </p>	<p>カントウヨメナ</p>  <p>    </p>
<p>ナミアゲハ</p>  <p>    </p>	<p>スギナ</p>  <p>ツクシ ↓</p> <p>    </p>	<p>アレチウリ</p>  <p>果実 ↓</p> <p>    </p>	<p>カントウタンポポ</p>  <p>反り返らない→</p> <p>    </p>

<p>ツユクサ</p>  <p>○ ● ○ ○ ○ ○</p>	<p>ミシシippアカミミガメ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○ ○</p>	<p>コガネグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ジュズダマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンカナヘビ</p>  <p>○ ○ ○ ● ○ ○</p>	<p>ジョロウグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ススキ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○ ○</p>	<p>ニホンアマガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>メダカ</p>  <p>←カダヤシメダカの特徴に注意</p> <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>アライグマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンアカガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ブルーギル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ● ○</p>
<p>ハクビシン</p>  <p>○ ● ○ ○ ○ ○</p>	<p>ウシガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>ベンケイガニ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>

今年の夏景色

弥生さくら草

全く暑い。耐えられぬ暑さに嘆声が出てしまう。会う人ごとの挨拶は「暑いです」にかわす。しかし昨年も同様に暑くて、それに耐えてきたのだから、これからも続くだろう……。今夕の新聞によると実りの季節に梅が熟せず例年より出荷量が半減していると報じていた。それに今年は米不足で台所を預かる主婦は米を求めてスーパーを駆け巡った。これも台風や暑さの故であろう。

家の中から庭の景色を眺めるとゼラニウムが変色している。脱色しているのだ。緑色の葉も色が薄くて見たことがないようである。暑さのせいだ。遠くから見ると黄白い花が咲いたように見える。日照り故に鉢物は日に2度は水を撒かなければならない。それでも足りず茄子や胡瓜はぐったりとした姿で喘いでいる。日中の水遣りは良くないというけれど、その姿にやらずにいられない。彼らが口を開いたら「暑い、水を・・」というだろうか？元気なのは草ばかりである。

この夏は蝉が鳴かない。鳴き声が聴こえない。彼等も暑いのだろう。いつも盛夏には激しく鳴く蝉の声が遠くまで届く。それらを追う子らの姿は今では全くない。

令和6年9月2日

青戸公園での自然観察会、セミが羽化する瞬間を親子で応援。

広瀬 温 (調査区2)

朝顔が咲き、セミが鳴き始めると夏がやってくる。関東甲信は6月21日ごろ梅雨入り、7月18日ごろ梅雨明けし、夏本番を迎えた。水元ネイチャープロジェクトの中島幸一さんによると、葛飾区内のニイニゼミの初鳴きは6月22日で、昨年より6日ほど早い。50年前は7月20日くらいだったようで、温暖化の影響で樹液が増え、成長が早まったのが一因と推測されている。

セミの仲間は世界に約3000種、日本には32種生息し、葛飾区「55種の動植物の指標種」にもクマゼミ・アブラゼミ・ツクツクボウシ・ミンミンゼミ・ニイニゼミの5種が選定されている。セミ類で55種のほぼ1割を占めるのはちょっと多すぎる気もするが、子どもにも大人にもなじみ深く、環境を考える指標に適しているのだろう。郊外に出かけると夏の日暮れ「カナカナ」とヒグラシの声を耳にするが、葛飾では松・杉林の減少に伴い、2000年以降は観察されていない。

7月26日、青戸平和記念公園で親子自然観察会「セミの羽化を見てみよう」が今年も開催された。8組21名の小学生と保護者が青戸地区センターに集合し、中島さんから葛飾のセミの最新事情についていろいろと教えていただく。

日暮れを待って青戸公園に移動する。この日の日没は18時51分、懐中電灯を手には歩く子どもたちに親が続く。セミは音には鈍感だが光には敏感なので、強い光で照らさないよう、中島さんから観察の注意を受ける。地中から這い出した幼虫が木の根元を歩いている、踏みつぶさないよう足元に注意しながら進む。

アブラゼミの幼虫が2匹、先を争うように木肌を登っていく。上を見上げると、脱け殻が枝先に無数に残る。

じっと見ていると、背中が割れて、あめ細工のような白い身体が出てくる。お尻で殻とつながり、宙吊りになって身体をひねり、羽根をじょじょに伸ばしていく。子どもも大人もじっと見守る。がんばれ。

もう少しと思った瞬間・・・落下。子どもたち、お母さんたちから悲鳴が上がる。地面に落ちたセミを助けようとするが、なかなかうまくいかない。ヒトの体温はセミにとって火傷するほど高温で、直接接触するのは厳禁だ。7年間、地中で過ごし、成虫になって羽ばたく直前、あっという間の出来事だった。これも自然なのだろう。

残された1匹をみんなで見守る。安定した姿勢でゆっくり身体を伸ばしていく。10分ほどで羽根もピンと伸び、このまま2～3時間すると飛び立てるといふ。ホッとひと安心だ。

中島さんによると、ニイニゼミの幼虫は土に湿り気がないと育たない。都市の乾燥化が進む中、ニイニゼミも多く見られるのは、青戸公園の土壌に水分が保たれている証だ。青戸平和記念公園はどこにでもある街中の公園だが、開園から70年を経て、樹々が育ち、多くの生きものを育てている。一時消えたカンタンも近隣住民の努力で戻ってきた。「野鳥好き高校生」Cさんのレポートにもあるように、園内の林では多くの野鳥が営巣している。

セミが羽化するようす、身近な公園で自然の驚異を目撃した親子は、生命の尊さを忘れないだろう。青戸公園の生きもの、環境を守り、街中の緑の公園を次世代に伝えていきたい。



米が消えた夏、米どころだった葛飾で田んぼのこれからを考える。

広瀬 温 (調査区2)

お米が店頭から消えた「令和の米騒動」。いつでも買えるのが当たり前と思っていた米が手に入らない。酷暑の中、博物館の田んぼで育つイネに、去年は感じなかった思いを抱く。

葛飾で暮らしていると米を目にするのはお米屋さんかスーパーで、田んぼで黄金色に輝く稲穂を見る機会はない。「米づくり体験教室」で田んぼ通いを続けるうちに、千葉や埼玉に出かけるとイネの実り具合が気になるようになった。

昭和30年代、高度成長期に至るまで1000年にわたって米どころだった葛飾。米づくりと関わりの深い葛飾区民として、米づくりがどのように行われ、人々はどのように暮らしてきたのか、米との関係はこの先どうなっていくのか、作物・商品としての米だけでなく、1000年に及ぶ関係から、去年は考えもしなかった米づくり・田んぼのこれからを見つめる夏となった。

6月15日 大豆の種まき、田んぼの生きもの観察

郷土と天文の博物館の「米づくり体験教室」では、幼稚園～小学生の40名と保護者が博物館前、曳舟川親水公園の田んぼで今年も米づくりに取り組んでいる。小峰園子学芸員の話は子どもにわかりやすいだけでなく、大人も初めて知ることが多く、田んぼで身体を動かしながら、水辺を取り巻く自然環境、米をつくってきた葛飾の暮らしを楽しく学べる。



博物館ボランティア「田んぼサポーター」の方々が見守る中、4月21日にタロベエモチのタネを「箱苗代」に蒔いて苗を育て、5月26日に田植えを終えた。

田植えから3週間。去年に続き、イネの活着が悪い。予定されていた草取りは見送られ、畔から生きものを観察する。流れてしまったイネも多く「田んぼサポーター」の方々が補植する。田んぼ脇の小さな畑に植える大豆は、直播きすると鳥に食べられてしまうので、まずはポットに

タネを2粒蒔き、水を十分にやり、家に持ち帰って育てる。

7月7日 大豆の植え替え、田の草取り

家で育てた大豆をポットから田んぼ脇の畑に植え替える。栄養豊富な田んぼではイネ以外の草もぐんぐん育つ。ヒエはイネによく似た雑草で、人間に抜かれないようにイネに擬態して進化してきた。イネに先行して穂をつけるヒエを引き抜く。田んぼに入って土を踏むことで土壤に酸素が送り込まれ、好気性の有機物が増える。水・栄養を取り込む根の張りが、この時期、イネが生育するカギとなる。

7月21日 竹細工教室

博物館のホールで「田んぼサポーター」の方々に教わりながら、鋸や鉋、木槌、電動ドリルを使って、親子で力を合わせて竹細工に取り組む。まず「でんでん太鼓」をつくって竹細工の基本を学び、「箸・皿・コップ・ペン立て」な



ど、好きなものをつくる。夏休みの宿題にもできる。水はけのよい土壌を好む竹は、昭和30年代まで葛飾区内各所に群生し、農閑期には副業として竹製品が製作されていた。今も伝統工芸品「飾り熊手」がつくられている。

8月10日 かかしづくり、タロベエモチの開花の観察会

イネの成長に伴い、ウンカやイナゴなどの害虫が集まってくる。博物館の田んぼも穂が膨らみ、スズメに狙われている。古着を再利用して思い思いのかかしをつくる。

8月25日、実ったイネをスズメから守るため、ネットが張られた。忍び込んだ数羽のスズメが中を飛び回っているが、ネットを補修したので昨年に比べ少ない。



9月8日 タロベエモチの稲刈り

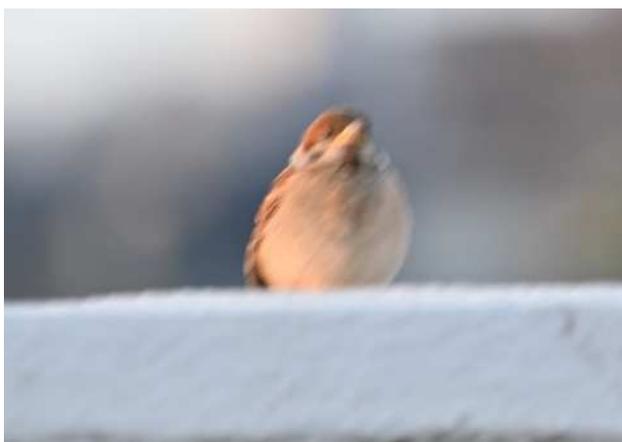
種を蒔き、自分たちで育ててきたイネを収穫する日がやってきた。子どもたちが田んぼに入り、足を開いてしっかり立つ。親指を上にしてイネをぎゅっとつかみ、株の根元をそろえて鎌を引く。よく研がれていて、ザックリと刈り取れる。鎌を使うのが初めての子もも多く、注意を払う。繰り返すうちにコツをつかんで、テンポが上がる。小学校高学年になると、田植え同様、農作業の戦力になる。畔で見守る親たちに刈り取った株を手渡す。2株ずつまとめた束を交差させ、天日干しにするために、麻ひもでぎゅっと結ぶ。大人も初めての作業で、株と格闘。風に飛ばされないようバランスをとって、ハサがけにし、3週間、天日干しにする。

イネを刈り取ると、隠れていたアメリカザリガニが大量に現れ、子どもたちが追いかけて回す。何匹も捕まえる子も、恐る恐る手でつかむ、生まれて初めての体験だという子もいる。無農薬のため、モツゴやヤゴ、タニシも出てくる。田んぼでは、ふだん出会えない生きものに会える。ちょっと前までどこにでもいたんだけど、今となっては葛飾の自然に触れ合える貴重な空間だ。

収穫を終えた田んぼをチョウやトンボが舞う。田んぼは「米の工場」ではない、葛飾の生態系を支えてきた「水辺のふるさと」の原風景だ。米が消えた2024年夏、田んぼがなくなると米が消えるのは必然かもしれないが、生きものたちの未来はだいじょうぶなのだろうか。酷暑の夏、ボーッと考えてみた。



自然観察レポート 6月～8月 平和橋周辺の鳥さんたち
高橋雅子 調査区2



平和橋のシンボルの鳩さんと、最多勢力のすずめさんです。(30～50羽)



河岸はダイサギさんとアオサギさんのお休みどころです。

あまりにも普通の鳥しかおりませんが、平和橋の周辺の鳥さんたちの近況はこんなものです。写真には撮れませんでした、ゴイサギさんもいるようです。

ツバメ生態系

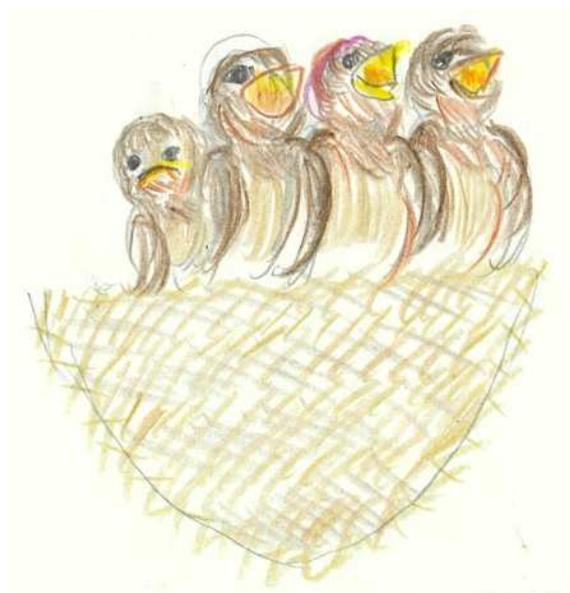
- 鳴き声 … チュリチュリ ジュリリなど
- 大きさ … 15~18cm
- 食性 … 昆虫の肉食
- 渡り鳥 … 東南アジアで冬越し 暖かい春になると日本



特徴

- 歩く事が苦手な為、
空中でエサを獲り、
水も飛びながら飲みます。
平均時速 35~50km ほどです。

- 毎年近所の巣に親が
戻って来てます。
今年はずくさんの巣に成りました。
毎日同じ時間に親ツバメはエサを
獲りに行っている様でした。
昼過ぎから夕方まで子ツバメに
飛び方を教えていました。
日に日に子ツバメが上手に飛べる
様に成って行く姿を見ていると、
とてもほほえましく思いました。



葛飾区自然環境レポーター 自由レポート (2024年6月～8月)

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に5-24、5-26、4-23	町名：東金町
-----------	----------------------	--------

6月22日(土) 東金町6丁目 葛西神社

葛西神社の樹々からどこかで聞いた事のある鳥の囀りが聞こえてきた。「あれはもしや？」と思い確認すると、案の定「ガビチョウ」だった(残念ながら写真は撮れず)。以前高尾山に行った際にあちらこちらでガビチョウが囀っていたのを思い出した。これまでも葛飾区内で確認されたことはあったのだろうか？私自身は葛飾区内でガビチョウ確認したのは初めてだった。ガビチョウは、中国南部から東南アジア北部にかけて広く生息しており、日本ではペットとして輸入された個体が広く定着してしまったようだが、特定外来生物に指定されていて、日本の侵略的外来種ワースト100定種にもなっている。ガビチョウが定着することによる影響としては、「ツグミやシロハラ・アカハラといった地上採食性のヒタキ科鳥類を駆逐したり、行動範囲が樹木の下とウグイスとその近縁種と重なることから、ガビチョウの増加はウグイスの減少をもたらし、結果としてカッコウ科の托卵が妨げられ、カッコウ・ホトトギス・ジュウイチ・ツツドリの飛来の激減といった連鎖的な生態系崩壊の影響も出ている」(ウィキペディア)とのこと。区内の他の地域でも確認されているだろうか。

7月2日(火) 東金町1丁目民間駐輪場及び金町6丁目マンション1階

●民間駐輪場

5月24日に調査した時点ではツバメが1回目の子育てをしていたところを観察できたが、その時のヒナ5羽は全て巣立っていた。今回あらためて伺ったところ、夜間駐輪場のシャッターが閉まっても大丈夫なところに新たな巣を作って2回目の5羽の子育てをしているところだった。



2回目の子育てをしているツバメ



親鳥からエサをもらうツバメのヒナ

●マンション1階入口

昨年はカラスに巣を襲われて巣を放棄してしまい繁殖は失敗したようだが、今年はどうにかツバメのヒナは巣立った様子。

私が様子を観察していると、マンションの住人さんが声を掛けてきてくれて、無事に巣立つの楽しみにしてヒナの成長を見守っているとのことだった。

7月6日（土）自宅

午前中、自宅の壁にアブラコウモリが一匹留まっていた。我が家では過去にもどこから入ってきたのか、夜に室内の照明を消した途端、アブラコウモリが室内を円状に飛び始めて驚いたこともあった。これまで室内でコウモリを確認したことは3~4回あった。コウモリはほんの少しの隙間があれば家の中に入り込めることは聞いたことはあったが、我が家はかなり多い方なのだろうか。自宅周辺は夏場の夜間ともなると、多数のコウモリが乱舞している。



アブラコウモリ

氏名 K・N		町名 東金町		調査区 5			
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)鳥類は大橋周囲～小合溜 (種類・植物・蝶々・野鳥(令和 6年6月・7月・8月))							
種類	6月	7月	8月	種類	6月	7月	8月
セイヨウタンポポ	2	0	0	アゲハチョウ	2	5	6
ツユクサ	0	多数	10	モンシロチョウ	3	4	2
シロツメ	0	多数	0	アオサギ	1	1	1
シジミチョウ	5	6	4	コサギ	1	0	2
クロアゲハチョウ	0	3	1				

野鳥情報

① つばめの巣はD地点をみつけたが、抱卵はなかった。 雛5羽
(6月中旬～7月) 過去2年とも16羽。原因は不明だが、来年が心配

② 7月12日の午前、近所の公園(カラスが2羽)

ママ暑いね、パパ
熱中症に注意しようね



昆虫情報

7月下旬

① 水元公園の桜土手の歩道で休憩中



② サクラの木で休憩中



キュウリの苗に受粉をしてくれたミツバチ?



- ④ 今年はセミの鳴き声が少ない（8月3日の某新聞記事—京都でも鳴き声が少ない。主婦の会話では「セミって35度を越えるとバテちゃって鳴けないんですって！」テレビで特集をやっていた内容は「鳴くのはオスでメスへの合図だという」散歩中の路上でのセミ拾いは7月中8羽だったが、8月には1日～15日で20羽 去年は40羽の記録あり、成虫が少ないのは子孫が減るといことか？この暑さで昆虫が路上にころがっている、熱中症は人間だけではないようだ。

植物情報

① 観察地の植物が「実をつけた」



② 自宅のミニトマトが実ったよー



水元公園の大橋が工事中の景色は珍しい！



暮らしの花と緑に支えられる季節感



6/19 田植えから実り 8/23 水元3丁目



6/23 ヒャクニチソウ 水元2丁目



6/30 自然環境レポーターの自然観察会 水元公園 オオバコ



日々の暮らしの中で自分の心を満たしてくれるものを持つことは、人として生きていくのに重要なことだと考えます。

私は、そのことの一つに、暮らしの中の季節感溢れる花と緑は欠かすことの出来ない情景だと考えます。農耕文化に支えられた日本の「田植え」・満面のほほ笑みの「百日草」。半夏生は夏至（6月21日頃）から11日後の7月2日昔は田植えを完了させなければいけない時期の目安にしたようです。そしてお盆の季節を彩るハスは、圧巻の季節の伝道花です。



ハンゲショウ



オカトラノオ

ハス



この美しき水辺と大地に感謝して



オニバス



スイレン



ウチワヤンマ↑

7/31 ツバメの子ども 水元2丁目↓



水生植物観察板↑

8/15 イチジク 水元2丁目↓



自然観察をする時に、私が心がけていることは、その場の自然になりきってみる事です。6月30日のレポーター研修会としての自然観察会は、水元公園で55種類の指標種を探しました。水生植物観察をしつつ心して水生植物に溶け込む自分から、この自然にどっぷりとつかる「なりきり・なったつもり」の自分を探してみるのは、季節は酷暑の中でも進んでいます。我が家の「ツバメ」も巣から出て飛び方練習を始め、いつの間にかイチジクも甘く結実する季節になりました。そんな中で、この美しき水辺と大地に感謝するも、危険な暑さの毎日で、秋はくるのだろうか不安まじりのレポートとなりました。

【6月】

春先に花を咲かせていた木はもう実をつけていました。



6/1 水元公園
ユズリハ



6/13 南水元
ヤマモモ



6/13 南水元
ピラカンサ



6/16 水元
芭蕉

ミクリは水元公園の水辺のさとで見られます。雌花の先の黄緑の丸いものが雄花の蕾です。雄花と実も見られました。



6/8 水元
モジズリ



6/1 水元公園
ミクリ (雌花)



6/1 水元公園
ミクリ (雄花)



6/1 水元公園
ミクリ (実)

スッポンはなんと卵を産んでいるところでした。



6/16 水元公園
オオミズアオ



6/16 水元公園
カノコガ



6/5 水元公園
スッポン



6/1 水元公園
カルガモの親子

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5-28
-------	--------	----------

【7月】

ツツジの植え込みの間にイヌスギナがありました。細い線のようなものがイヌスギナです。先端につくしのよう
な胞子嚢が付いています。東京都のレッドデータリストでは、区部はENだそうです。湿地でもない団地の間の
公園に生えていたのでびっくりです。



7/19 東金町
イヌスギナ



7/15 新宿
ハクウンボク



7/15 南水元
エゴノキ



7/3 水元公園
フジキ

ハスは、ピンク、白、中間、といろいろありきれいでした。



7/6 水元公園
ハス



7/3 水元公園
ハス



7/3 水元公園
ハス



7/3 水元公園
ホルトノキ

サンゴジュは蜘蛛の巣がかかっていることが多いのですが、今年あまり蜘蛛の巣はなく、下旬には大分小鳥
に食べられていました。アメリカオニアザミは道端に沢山、花、実をつけていました。



7/21 水元公園
サンゴジュ



7/21 水元公園
ショウブの実



7/21 水元公園
カラスアゲハ



7/26 新宿
アメリカオニアザミ

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5-28
-------	--------	----------

【8月】

今月の暑さは格別でした。外へ出る回数も減り、外を歩いても、写真を撮るために立ち止まるのも暑くてたまらず、そそくさと室内へ戻ってしまうという日々でした。というわけで、少しだけですが、見かけた生物の報告をします。

いろいろな虫を見かけましたが、動くのでなかなか撮れません。ナツアカネ、チョウトンボの写真を撮ることができました。

コミカンソウは、もともとたくさんあったのか、最近急に増えたのわからないのですが、気がついたらあちこちにありました。ガガブタは水元公園の水辺のさです。



8/3 水元公園
ナツアカネ



8/3 水元公園
チョウトンボ



8/27 南水元
コミカンソウ



8/3 水元公園
ガガブタ

6月にスッポンの産卵の報告をしましたが、あのときの卵を水元公園の水辺の生きもの館で採取、かわいい赤ちゃんが育っていました。生まれたての赤ちゃんはおなか赤いということを初めて知りました。おなかはなかなか見せてくれないので、うまく撮れませんでした。少しはわかるでしょうか。よく見ると、赤いおなかに黒い模様があります。

エノキグサは最近気がつきました。見慣れない草だと思ったのですが、じつはありふれた草のようです。ショウジョウソウは栽培していたものが逃げ出したものかもしれません。



8/24 水元公園
スッポン



8/24 水元公園
スッポン



8/28 南水元
エノキグサ



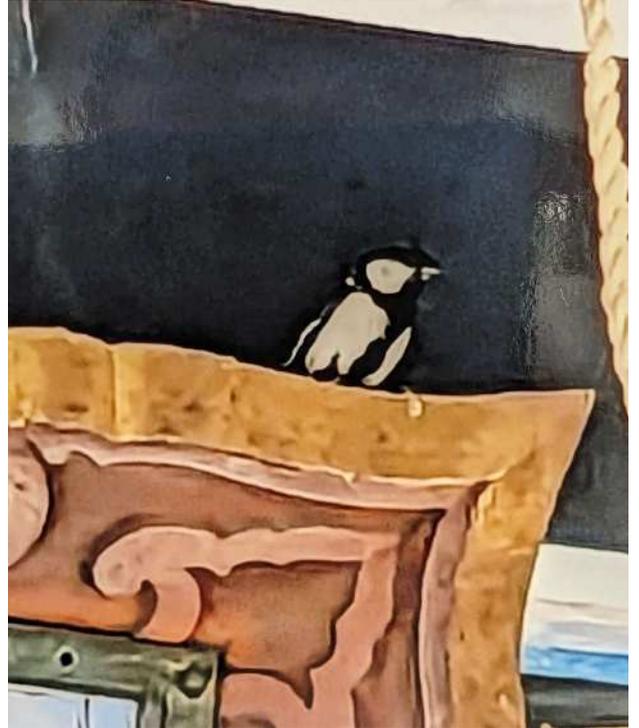
8/30 南水元
ショウジョウソウ

以上

季節の写真集 (6~8月)



オニバス 佐々木定治 6/30 水元公園



「望遠鏡で私を観てね!」 シジュウカラ
神山隆敬 6/24 香取神社



「暑さに負けない!!」 シオカラトンボの雌
神山隆敬 8/11 亀有3丁目



「トンボの遠距離恋愛で、この夏、暑くなった!!」 シオカラトンボの雄
神山隆敬 8/31 水元公園

季節の写真集 (6~8月)



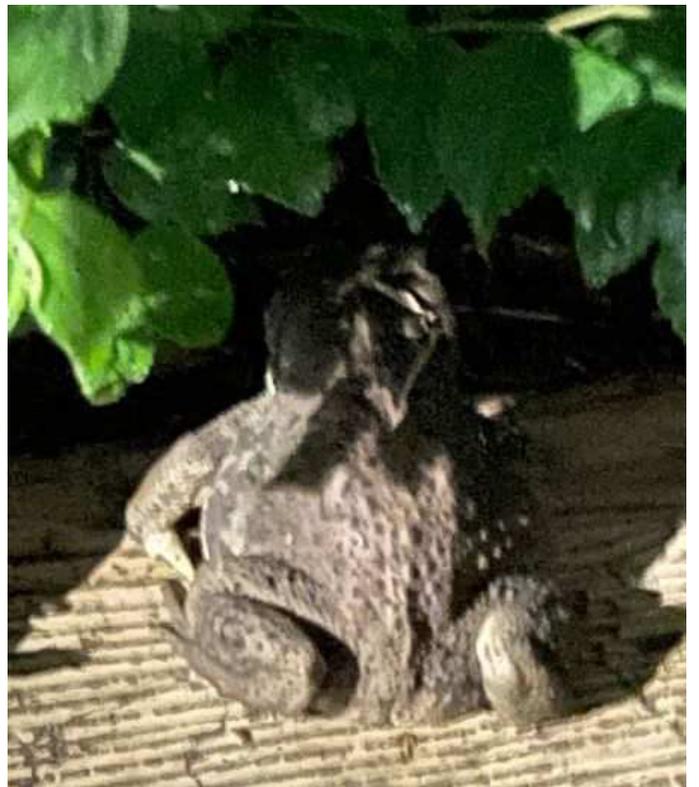
「バッタのサラダバー」 R 7/25 お花茶屋



アブラゼミ R 8/1 お花茶屋



アオドウガネ R 8/10 お花茶屋



アズマヒキガエル? Ryu 7/31 東堀切

季節の写真集 (6~8月)



キマダラカメムシ幼虫・卵殻
下山田隆 6/1 水産試験場

「カマキリ vs バッタ」
Ryu 8/9 お花茶屋



クヌギシギゾウムシ
下山田隆 7/21 水産試験場



アジアイトトンボ♀
下山田隆 8/3 水産試験場

季節の写真集 (6~8月)



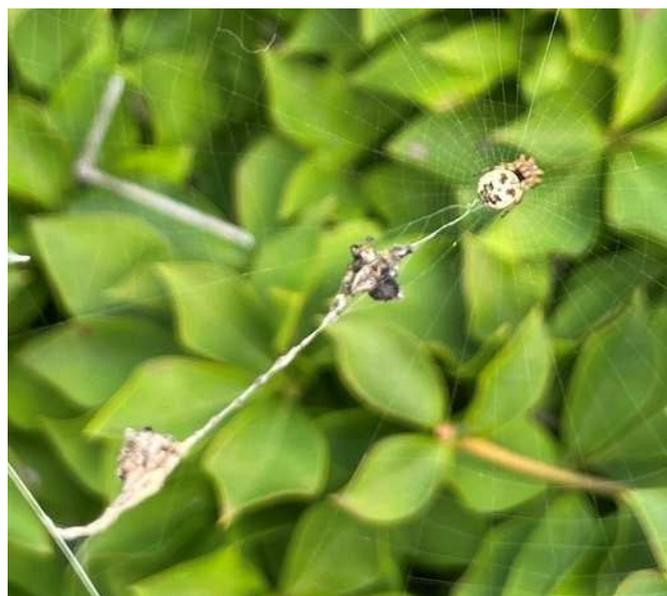
「例年のチョウやハチはどこ？」
ゴーヤとアサガオ ゆきひめ 7/18 立石



「によきによき」 キノコ
瑛ちゃん 6/4 金町

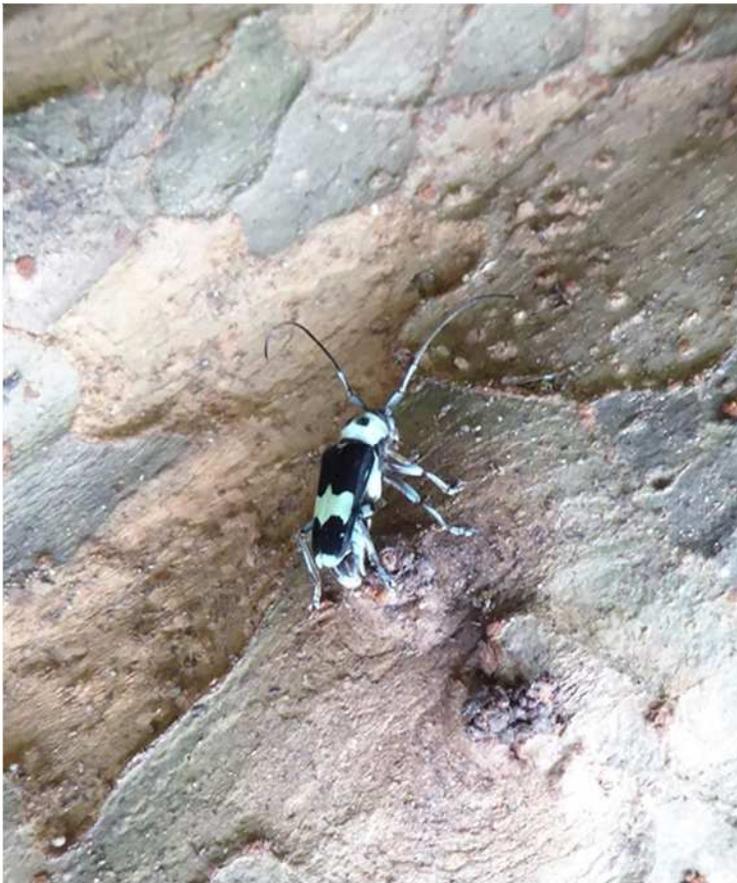


「はらぺこいもむし」 セスジスズメ幼虫
瑛ちゃん 7/18 金町



「ごちそうさま！」 ゴミグモ
瑛ちゃん 7/18 金町

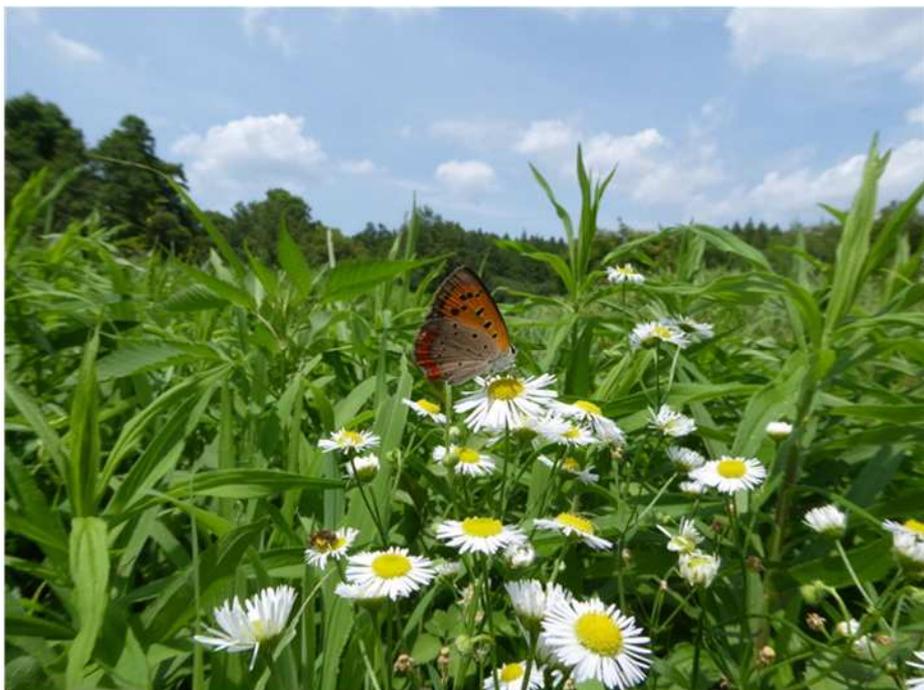
季節の写真集 (6~8月)



ラミーカミキリ むしあお
7/21 水元公園



ニワハンミョウ むしあお
7/21 水元公園



ベニシジミ むしあお
7/21 水元公園

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-323

調査回数 調査日 地点		325			備 考
		2024/6/22			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	14 60-127			
2	カ ダ ヤ シ			2 17-27	特定外来生物
3	ギ ン ブ ナ			3 26-33	
4	コ ク チ バ ス	5 47-273			特定外来生物
5	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	3 60-81			
6	ス ズ キ	2 360-410			
7	ス ミ ウ キ ゴ リ		63 33-65	5 41-48	
8	デ メ モ ロ コ	4 67-80			
9	ニ ゴ イ	11 28-157			
10	ヌ マ チ チ ブ	29 23-79			
11	ヒ ガ イ	1 53			
12	ブ ル - ギ ル	1 138			特定外来生物
13	ボ ラ	5 79-450			
14	マ ハ ゼ	5 47-80			
15	メ ダ カ			8 18-33	
16	マ ル タ	1 68			
計		12種類81個体	1種類63体	4種類18個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて16種類162個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ時々曇り、気温28.4℃、水温 本流24.3℃、新八水路22.3℃、新八ワンド27.5℃（14：30頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉縣市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.70m (12:00)1.69m (14:00)1.75m

【参加者コメント】

- ・ いつも拠点にする、頭上のクルミの木は、花も実も早くて、もう房になって枝垂れてきていました。皆、ぶつかる。(KI)
- ・ 抱卵した雌と婚姻色が鮮やかな雄のゴクラクハゼが採れた。昨年は小型の未成魚も複数採れており、周辺で繁殖している可能性が大きい。
 今年もワンドでギンブナとコイの20-30mmの未成魚が採れている。河口堰の水閘門の開閉によって水位が高い状態から本流に水が流れ出すときにこれらの親魚が溯上して産卵に利用していると思われる。ワンドと水路の浚渫を行なって産卵場としての機能を拡大してほしい。(YK)
- ・ 4人親子の参加があり賑やかにスタートした新八は、ちょうどよく雲がかかり風もあって調査日和の一日でした。家族参加のお子様たちは、蟹に夢中。ワンドも周囲の草と水中の葦？が刈られて、子どもも入りやすく助かりました。整備に入ってくれていたSさんには、感謝感謝です！（KY）

【今後の調査日】 7月21日(日) 8月17日(土) 9月1日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」 【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-324

調査回数 調査日 地点		326			備 考
		2024/7/21			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	17 80-128			
2	カ ダ ヤ シ			30 11-45	特定外来生物
3	カ マ ツ カ	1 65			
4	ギ ン ブ ナ		1 27		
5	コ	4 93-115			
6	コ ク チ バ ス	7 75-275			特定外来生物
7	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 81			
8	ス ミ ウ キ ゴ リ		58 37-66		
9	タイリクバラタナゴ			1 15	
10	ニ ゴ イ	8 79-118			
11	ヌ マ チ チ ブ	7 39-91			
12	ブ ル ー ギ ル	1 129			特定外来生物
13	ボ	21 69-290			
14	マ ハ ゼ	25 57-112			
15	マ ル タ	8 15-25			
16	メ ダ カ		1 15	11 12-35	
計		11種類100個体	3種類60体	3種類42個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて16種類202個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温35.2℃、水温 本流29.3℃、新八水路28.0℃、新八ワンド32.8℃（14：30頃測定）
- 「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.59m (12:00)1.70m (14:00)1.77m

【参加者コメント】

- ・ 水温も高く、水中にいてもあまり涼しく感じませんでした。ニュースで、水中でも熱中症がありうると言っていて、納得。(KI)
- ・ 先月に続いて鮮明な横ストライプを発現するヌマチチブの未成魚が採れた。他の魚種に間違えう恐れがあるかもしれないが、胸鰭基部の緑青色に輝く模様が特徴的。ゴクラクハゼの未成魚がヨシノボリ類に酷似しているのでやはり要注意だ。(YK)
- ・ 水位が高く 水温も場所によって生暖かったり 冷たかったり まるで対流のない沼です せき止められた川は (MT)

【今後の調査日】 8月17日(土) 9月1日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」 【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-325

調査回数 調査日 地点		327			備 考
		2024/8/18			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	21 14-123			
2	カ ダ ヤ シ			48 12-42	特定外来生物
3	カ マ ツ カ	1 105			
4	ギ ン ブ ナ	5 98-115			
5	ク ロ ダ イ	1 510			
6	コ	2 102-152			
7	コ ク チ バ ス	6 103-160			特定外来生物
8	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 59			
9	ス ミ ウ キ ゴ リ		26 42-64		
10	デ メ モ ロ コ	1 77			
11	ド ジ ヨ ウ		5 62-137		
12	ニ ゴ イ	2 114-115			
13	ヌ マ チ チ ブ	3 53-63			
14	ブ ル ー ギ ル	1 118			特定外来生物
15	ボ	8 110-320			
16	マ ハ ゼ	10 70-117			
17	メ ダ カ			2 17-18	
18	ワ タ カ	1 215			
計		14種類63個体	2種類31体	2種類50個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて18種類144個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温33.2℃、水温 本流30.0℃、新八水路28.3℃、新八ワンド32.0℃（14：00頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.72m (12:00)1.76m (14:00)1.76m

【参加者コメント】

- ・ 本流に入るあたりに、ドバトらしき羽が散乱していました。猛禽類のお食事跡？キジもいるし、川近くの細長い樹林や緑地でも、生き物の生息域になるのを実感します。クロダイ、水中で、顔から上がって来て、色で（アメナマ？）と思ったら、歯が見えて、びっくりしました。淡水ばかりで採っていると、歯が見える魚ってあまりいないので、顔こわい。
- ・ ヌマチチブがいつものところでタモ網で採れない。水温が高い浅瀬から深いところに避暑へ行ったのか。（SI）

【今後の調査日】9月23日(月・祝) 10月13日(日) 11月3日(日) 12月14日(土)
 2025年 1月13日(月・祝) 2月16日(日) 3月29日(土)

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

環境課からのお知らせ

★自然環境レポーター研修会を開催しました！★

令和6年6月30日(日)、「梅雨時の生きものを観察しよう」をテーマに、都立水元公園グリーンプラザ周辺にて、夏の自然観察会を開催しました。

「55種の動植物の指標種」(P2~5参照)リストを基に生きものを探し、講師の詳細な解説を受けて知識をアップデートするほか、発見したものを実際に手に取って観察しあう事で、レポーター同士の交流も深めることが出来ました。

研修会の後半では、聞きなし(鳥の鳴き声がある特定の言葉に聞こえること)の紹介や、新種発見に寄与した撮影の話など、レポーターの観察意欲を高めるような講義が行われました。

蒸し暑い梅雨時の気候の中、夏に向けて生き生きと生長する植物等を観察することで、知識を深めつつレポーター同士も交流できる研修会となりました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

今後も研修会を開催していく予定ですので、レポーター同士の交流やレベルアップのためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。



▼ヤゴの抜け殻を
手に取って
観察する様子

▲フィールドワークにて
講師の解説を受ける
自然環境レポーターの皆さま



環境課からのお知らせ

★グッドかわせみ賞受賞者★ 23名をご紹介します！



グッドかわせみ賞は、年に7回以上レポーター活動に励んだ方に授与されます。

受賞された皆さまには、委嘱式時に賞状と記念品をお渡しました。

※委嘱式を欠席された方には郵送しております。

グッドかわせみ賞を受賞された皆さま（敬称略）

R	アナログバーバ	有泉桂子
石戸雅彦	石鍋壽一	瑛ちゃん
江戸川の小鮒	大谷悦子	神山隆敬
K・N	K・T	佐々木定治
下山田隆	高橋雅子	田村ひろ子
千葉美文	となりの庭	ひまわり
広瀬温	むしあお	R y u
弥生さくら草		ゆきひめ

受賞おめでとうございます！

グッドかわせみ賞は今年度も実施します。
ぜひ皆さま活動に励み、今年度の
グッドかわせみ賞を目指しましょう！



環境課からのお知らせ

★新ハ水路で魚類調査を行います★

自主生物調査団が、新ハ水路にて魚類調査を行います。調査の結果は、「魚からの便り」として水辺のふるさとかつしかに掲載しています。

【日時】 10月13日（日） 11月3日（日） 12月14日（土）
いずれも10時～16時ごろ

【場所】 江戸川河川敷 ※事前連絡をお願いします。

【持ち物】 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス
詳しくは、HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>) をご覧ください。



★綾瀬川等で行う水辺環境調査を見学しませんか★

採取した生きものを展示して、その場で調査結果の概要を説明します。
直接会場へお越しください。※駐車場はありません。

【日時】 令和6年10月4日（金）〈予備10月18日（金）〉
15時～15時半（調査報告）

【場所】 綾瀬川（東四つ木避難橋付近）

【日時】 令和6年11月21日（木）〈予備11月28日（木）〉
11時半～12時（調査報告）

【場所】 江戸川新ハ水路

今号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

R	アナログバーバ	石戸雅彦
瑛ちゃん	江戸川の小鮒	大谷悦子
神山隆敬	K・N	佐々木定治
下山田隆	高橋雅子	田村ひろ子
T・K	となりの庭	ひまわり
広瀬温	むしあお	弥生さくら草
ゆきひめ	Ryu	

自主生物調査団（編集：一澤成典）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」第330号
（葛飾区 自然環境レポーター通信第282号）

令和6年9月末日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

代表電話 (3695)1111

直通電話 (5654)8237

FAX (5698)1538



▲区のホームページにも
掲載しています。

(URL)

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1023084.html>



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。